

③ 防火 管理者選任 (解任) 届出書
 防災

※記入例

		① 令和 年 月 日					
湖東地区消防長 殿		② 届出者 住所 _____ (法人の場合は、名称及び代表者氏名) 氏名 _____					
下記のとおり、		防火 管理者を選任 (解任) したので届け出ます。 防災					
		記					
防火対象物 又は 建築物その他の工作物	所在地	④ _____					
	名称	⑤ _____ 電話 () _____					
	用途	⑥ _____	令別表第1	⑦ () 項	收容人員	⑧ _____	
	種別	⑨ <input type="checkbox"/> 甲種	<input type="checkbox"/> 乙種	管理権原	⑩ <input type="checkbox"/> 単一権原	<input type="checkbox"/> 複数権原	
	区分	名称		用途	收容人員		
	※令第2条を適用するもの	⑪ _____					
	※令第3条第3項を適用するもの	⑫ _____					
防火・防災管理者	選任	フリガナ 氏名・生年月日	⑬ _____ 年 月 日生				
		住所	⑭ _____				
		選任年月日	⑮ _____ 年 月 日				
		職務上の地位	⑯ _____				
	資格	講習	種別	<input type="checkbox"/> 甲種 (<input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)		<input type="checkbox"/> 乙種	<input type="checkbox"/> 防災管理 (<input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)
			講習機関	⑰ _____			
		修了年月日	⑱ _____ 年 月 日		_____ 年 月 日		
	その他	⑳ _____		令第3条第1項第 号 () _____		令第47条第1項第 号 () _____	
		_____		規則第2条第 号 () _____		規則第51条の5第 号 () _____	
	解任	氏名	㉑ _____				
解任年月日		㉒ _____ 年 月 日					
解任理由		㉓ _____					
その他必要事項		㉔ _____					
※※ 受付 欄		※※ 経過 欄					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 「防火 防災」の横書きの文字については、該当しない文字を横線で消すこと。
 - ※印の欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。
 - 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。
 - 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。
 - 印のある欄については、該当の印にレを付けること。
 - ※※印の欄は、記入しないこと。

防火・防災管理者選任（解任）届出書 記入要領

項 目	記 入 要 領
①年月日	届出書を提出する日を記入する。
②届出者	当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入する。 届出者が法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職、氏名を記入する。
③防火・防災、選任（解任）	防火・防災、選任（解任）のうち、該当しない文字を横線で抹消する。 同一の届出書で選任と解任を行うときはそのままとする。
④所在地	当該防火対象物等の所在地を記入する。
⑤名称	「〇〇株式会社〇〇工場」、「〇〇銀行〇〇支店」等、当該防火対象物等の名称及び電話番号を記入する。
⑥用途	当該防火対象物等の用途を政令別表第1に掲げる用途区分により「工場」、「事務所」等の要領で記入する。
⑦令別表第1	当該防火対象物等の用途を政令別表第1に掲げる項区分により「(12)項イ」、「(15)項」等の要領で記入する。
⑧収容人員	規則第1条の3の算定基準により算定した防火対象物等の全体の収容人員を記入する。
⑨種別	政令第3条の防火対象物等の区分に応じた該当する方の□印にレを付ける。
⑩管理権原	当該防火対象物等について管理権原が分かれてない場合は「単一権原」の□印に、分かれる場合は「複数権原」の□印にそれぞれレを付ける。
⑪※消防法施行令第2条を適用するもの	同一敷地内に同一権原の2以上の建物がある場合、各棟の名称、用途及び収容人員を記入する。
⑫※消防法施行令第3条第3項を適用するもの	届出者の管理する事業所が、複数権原の防火対象物の部分で、かつ当該部分が、乙種防火管理講習修了者を防火管理者とすることができる部分（規則第2条の2第1項第2号イからハに掲げる部分）である場合の当該事業所の名称、用途及び収容人員を記入する。
⑬選任者氏名、生年月日	防火管理者となる者の氏名（フリガナ）、生年月日を記入する。
⑭住所	防火管理者となる者の住所を記入する。
⑮選任年月日	管理権原者から当該防火対象物の防火管理者として選任された年月日（又は届出年月日）を記入する。
⑯職務上の地位	防火管理者として選任されたときの組織上の地位を記入する。 例）「総務部長」、「店長」、「支店長」等
⑰講習種別	受講した防火管理講習が甲種の場合は甲種の□印にレを付けて、新規講習のみ受講の場合は新規講習の□印に、再講習を受講している場合は再講習の□印にレを付ける。乙種の場合乙種の□印にレを付ける。
⑱講習機関	防火管理講習を受けた機関名を記入する。 例）「〇〇市」、「〇〇消防本部」、「日本防火・防災協会」等
⑲講習修了年月日	講習を受けた修了証に記載されている修了年月日を記入する。 再講習を受講している場合は、最後に受講した修了証に記載されている修了年月日を記入する。

⑳その他	講習修了以外の資格者で選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入する。 例) 規則第2条 市町村の消防団員で3年以上管理的又は監督的な職にあった者
㉑解任者氏名	防火管理者を解任される者の氏名を記入する。
㉒解任年月日	管理権原者から防火管理者として解任された年月日(又は届出年月日)を記入する。
㉓解任理由	「転勤」、「退職」、「人事異動」等、具体的に記入する。
㉔その他必要事項	新たに防火管理者が必要になった理由等を簡記する。 例) 「新築、増改築、従業員増加、収容人員増加」等 その他必要な事項を記入する。